

先進地視察について

資料作成：株式会社 J T B 九州

視察の目的

芦屋港の活性化のためには、周辺の海の駅、直売所などとの差別化と連携を戦略的に実施していくことが求められます。

今回の視察では、芦屋町周辺の先進事例について視察し、今後の芦屋港に必要な機能や配置、規模、運営主体などの検討に反映させていくことを目的とします。

◆視察の視点

- ①施設の設置経緯
- ②施設が持つ機能や配置
- ③周辺機能(観光資源含む)との関係性及び立地
- ④各視察先の特色について

視 察 行 程

◆ 日 程

平成29年10月19日（木）

8時集合／17時30分解散予定

◆ 目的地

① うみてらす豊前（豊前市）

② 道の駅むなかた（宗像市）

③ うみんぐ大島（宗像市）

◆ 行 程



* 移動は大型の貸し切りバスにて行ないます。

* 参加対象は、芦屋港活性化推進委員会委員とします（代理参加可）。

- ①視察先名称（機能）：うみてらす豊前（レストラン・直売所）
- ②オープン日：平成28年(2016年)6月7日
- ③設置者：豊前市
- ④運営者：豊築漁業協同組合
- ⑤直近利用者(来場者)実績：開業後1カ月で1万5千人、6～2月迄で10万人

⑥概要

特産品のブランド化や6次産業化にも積極的に取り組む豊前市の、地域間交流の拠点。

同種の施設との相互販売交流（海産物の活用・売れない魚の加工による付加価値付け）と、生産意欲の向上・後継者育成及び新規就労者への雇用拡大を目的として設置されている。

またイベント、観光PRにて観光客の誘致、販売拡大に繋げ、地域創生(地域の課題の解消・人口減少)に寄与する施設として期待されている。

⑦特徴

- ・ 木造2階建て延べ約550平方メートル
- ・ 骨組みや内装材に地元豊前産の木材（杉やヒノキ）をふんだんに使った施設。店内からは目の前に広がる豊前海が一望できる。
- ・ 1階には、豊築漁協の直売所「四季旬海」が開設され、水揚げされたばかりの活魚や加工品などを購入できる。
- ・ 2階には、豊築漁協直営の漁師食堂「うのしま豊築丸」が移転リニューアルし、四季折々の豊前海の恵みが堪能できる。

①視察先名称（機能）：道の駅むなかた（物産直売所・レストラン）

②オープン：平成20年(2008年)4月12日

③設置者：

④運営者：株式会社道の駅むなかた

※宗像農業協同組合・宗像市商工会・宗像漁業協同組合・宗像観光協会・宗像市の5団体が出資

⑤直近利用者実績：

⑥概要

次の5つの事項を目的として設置されている。

- ・物産直売所における農水産物や加工品等の販売
- ・季節の旬の食材を使用した催しや地域の団体と連携したイベントの開催
- ・館内レストラン「おふくろ食堂はまゆう」にて宗像地域の特長を活かしたメニューの提供
- ・観光情報コーナーにて地域の観光やグルメ、宿泊情報等を提供
- ・道路利用者の憩いの場として「癒しの空間」を提供

⑥概要（前ページからの続き）

「株式会社道の駅むなかた」は、地域産業の活性化を図ることを目的に道の駅むなかたの運営における自主事業として地域振興事業を実施するほか、業務を通じて得られる利益を独自に取り組む地域振興事業の原質に充て、活動を行っている。

⑦特徴

- ・ 白砂青松100選にも選ばれた樹齢200年以上の黒松の並木が5kmにわたって続く「さつき松原」と隣接し、釣川河口からは玄界灘が一望できる眺望に優れた場所に立地。
- ・ 物産直売所における特産品の販売や様々なイベントを企画・実施し、交流人口の増加を図っている。
- ・ 周辺の観光施設・観光資源と連携・協力し、観光客の域内回遊性を高めている。例えば、季節の旬の食材を使用した催し（いちご祭、さざえ祭）や、地域の団体と連携したイベントを開催。
- ・ 館内レストラン「おふくろ食堂はまゆう」では、宗像地域の特長を活かした郷土色豊かな漁師料理・農家料理を中心にメニューを構成し、地元食材にこだわった料理を提供している。

- ①視察先名称（機能）：うみんぐ大島（釣防波堤釣場、海上釣堀、プレジャーボートステーション）
- ②オープン：平成23年(2011年)4月29日
- ③設置者：福岡県
- ④運営者：株式会社むなかた大島
- ⑤直近利用者実績：総入場者数は平成28年14,008名、平成27年16,162名
- ⑥概要

平成17年度に福岡県と宗像市は、大島港・芦屋港及び地島漁港において「県内外から観光客を誘導し、地域振興を図るため、大島地域と玄海国定公園を望む海岸線を有する芦屋地域において「港湾及び漁港の整備」を行うことを目的とした、地域再生法に基づいた地域再生計画「離島の素材を活かした癒しの島づくり計画」を申請し認定されている。

本計画において、大島港における親水施設や係留施設の整備、芦屋港における老朽化の進んだ物揚場・岸壁等の改良、地島漁港における観光客との交流を行う運動施設や親水施設の整備について、これらを一体的に実施することにより、この地域の観光客に魅力のあるものとし、観光客の増加や地域の雇用創出を図ることを目標としている。

⑦特徴

- 釣り防波堤釣り場と海上釣堀、シーカヤックなどの設備を揃えた総合的なレジャー施設
 - ・釣り防波堤釣り場は長さ300m、幅12m、水深は4m～7m、最大175名収容可能な釣り専用防波堤
 - ・膝丈程の転落防止柵、10カ所の救命梯子、15カ所に救命浮環を設置して安全に配慮している。
 - ・防波堤の付け根付近には清潔なトイレ（車椅子利用可）や東屋があるのも有料施設ならでは。
 - ・イケスは6区画あり、広さはそれぞれ15m×20m、最大15名まで竿出しが可能で、貸切イケスもあり、グループで気がねなく釣りを楽しむ事もできる。また、真鯛・ヤズ・ヒラマサ・シマアジ・クロ・カワハギなど季節に応じて10種類程度の魚を放流している。
- ヨットやクルーザーなどのレジャー船舶が停泊できるプレジャーボートステーション
 - ・最大70フィート級の船舶の受入も可能。
 - ・国土交通省より「海の駅」の指定を受け、15日以内の短期係留で、夜間の停泊にも対応。
- 「みなと」を地域住民や観光客など多くの人々の気持ちを和らげたり、癒したりしてくれる憩いの場と共に活気のある賑わいの場を作り出す事を目的とした九州みなとオアシスにも登録。
- 施設の管理事務所の管理棟には、休息室・トイレ・シャワー室・オリエンテーションルームや、釣具・釣り餌・菓子・カップ麺などの物販コーナーがある。

先進事例視察の視点

◆ 共通事項

- ・ 施設等の設置経緯
- ・ 施設が持つ機能や配置、周辺機能（観光資源含む）との関係性・立地

◆ うみてらす豊前（豊前市）

- ・ 漁協所属漁師による直売所の内容や運営状況
- ・ 飲食機能の運営状況

◆ 道の駅むなかた（宗像市）

- ・ 株式会社道の駅むなかたの設置経緯、設置までに苦労した点

◆ うみんぐ大島（宗像市）

- ・ 港湾施設の状況、整備された機能とその配置
- ・ 運営状況、利用者の動向
- ・ 住民や関係者の反応、設置までに苦労した点